

第 1 回 宮城県内道路 路面標示連絡調整会議

日時：令和 7 年 5 年 2 7 日（火）13:30～15:00

場所：漁信基ビル 602 会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 出席者の紹介

4 議 題

（１）設立背景について

（２）連絡調整会議の規約について

（３）連絡調整会議の進め方について

（４）その他

5 閉 会

第 1 回 宮城県内道路 路面標示連絡調整会議 出席者名簿

機 関 名	役 職	氏 名
東北地方整備局仙台河川国道事務所	副所長	ならおか 檜岡 たみゆき 民幸
東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所	副所長	こじま 小嶋 みつやす 光康
宮城県警察本部交通部交通規制課	交通規制課長	いとう 伊藤 よしたけ 善健
宮城県土木部道路課	道路課長	ながさわ 永澤 こうじ 浩司
仙台市建設局道路保全課	道路保全課長	さいとう 齊藤 やすひこ 康彦

連絡調整会議の進め方（案）

第 1 回 宮城県内道路 路面標示連絡調整会議

令和 7 年 5 月 2 7 日

連絡調整会議の進め方（案）

路面標示の維持管理上の特徴

1. 路面標示は管理対象が長い（多い）
 - ①区画線は路線延長に比例して存在し、その延長は路線延長よりはるかに多い
 - ②横断歩道や停止線等、個別の路面標示も多数存在
 - ③例えば外側線、一連区間でも不均一に劣化が進行する
2. 路面標示は更新サイクルが短い
 - ①箇所にもよるが、短い場合は1～2年程度で著しく劣化が進むものもある
 - ②県内山間部においては、除雪作業による摩耗によりさらに更新サイクルが早い
 - ③法定点検施設のような予防保全は困難
3. 通行機能を複数の管理者が管理する路面標示で確保している
 - ①円滑かつ安全な通行を確保するため、それぞれの管理者がそれぞれの優先順位に基づき路面標示を管理
 - ②1つの交差点上の路面標示を、複数の管理者が管理している
 - ③各管理者の路面標示の1つが消えると、全体の機能が低下する

連絡調整会議の進め方（案）

路面標示の特徴を踏まえた維持管理の課題

1. 劣化状況の把握が難しい
 - ①管理対象が長い（多い）ため、点検精度の確保が困難
 - ②一連の区画線で劣化が不均一に生じる
2. 路面標示の耐用年数が不明
 - ①路面標示の劣化要因は様々で不明な点が多く、要因毎の耐用年数も不明
 - ②「更新」を計画的に行う場合、耐用年数の把握が必要
3. 路面標示の施工方法の検討・調整
 - ①発注者毎に路面標示の更新年度、発注時期が異なる
 - ②道路交通への影響を最小限にしつつ効率的に更新を進めるためには、管理者間の連携と積極的な事前調整が重要

連絡調整会議の進め方（案）

連絡調整会議での検討内容

1. 同時施工等の実施について
 - ①目指すべき同時施工箇所の優先順位の整理
 - ②同時施工に向けた対象箇所の選定

2. 路面標示の点検について
 - ①劣化状況の把握手法の検討
 - ②必要に応じて点検情報の共有

3. その他
 - ①各管理者間の路面標示の現状に関する情報共有
 - ②他の管理者の事例収集

宮城県内道路 路面標示連絡調整会議

1. 設立趣旨

路面標示は、道路利用者の交通安全上、非常に重要であることから、宮城県内の路面標示についての意見交換、検討、調整等、各管理者間で連携を行うことで、道路利用者等の安全確保に資することを目的とする。

2. 連絡調整会議の進め方（案）

